

BADUI診療所

カルテ：36

点字ブロックは誰のため？

ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N「次の方どうぞ～」

患者 A「こんにちは。私は、目の不自由な方を案内する点字ブロックです。以前は利用されていたのですが、ある時からまったく使ってもらえなくなり、どうしたものかなと思ひまして相談にきました」

Dr. N「それはそれは。ちょっと診せてください」

患者 A「はい、お願いします（図1）」



図1 点字ブロックと多目的トイレ

Dr. N「一見すると特に問題がないように見えますが... あれ、これなんですか？（図2）」



図2 何かの痕跡？

患者 A「なんだったかな…。ああ思い出しました。以前ここには公園の案内板や水飲み場があったんです」

Dr. N「案内板や水飲み場はどこにいったんですか？」

患者 A「臨時で保育園を建てたので撤去しました」

Dr. N「じゃあなんで点字ブロックは残してあるんですか？」

患者 A「点字ブロックの整備は管轄が別ですし、そもそも取り外すのにもお金がかかります」

Dr. N「いやいや、目が見えない人にとって点字ブロックはとても重要なものです。このまま放置していると迷ってしまう。ちゃんと撤去してください」

患者 A「あと1年もしたら、保育園がなくなり、またここに案内板と水飲み場を作るので残してちゃダメですか？」

Dr. N「ダメです！ すぐに治してもらってください！ はい、次の方どうぞ」

患者 B「こんにちは。私は、インターホンまで案内する点字ブロックです。今まで何も苦情は寄せられていないので問題ないと思っているのですが、O先生から余りにもひどいから診てもらえといわれてやってきました*1」

Dr. N「それはそれは。ちょっと診せてください」

患者 B「はい、お願いします（図3）」



図3 点字ブロックとインターホン

Dr. N「ええと、これなんですか？」

患者 B「インターホンがここ（A）にありまして、ボタンを押すと防災センターにつながり、色々と相談することができます！（図4左）」



図4 段差がある為にたどり着けない

Dr. N「えっ？ ちょっと確認したいのですが、これは誰のためのものですか？」

患者 B「ひとつの装置で、車椅子の人・目が見えない人・耳が聞こえない人に対応できるんです。すごいでしょ！」

Dr. N「いやいや、まず、車椅子の人向けなら段差が邪魔になって辿りつけませんし、インターホンが高すぎて手が届きません。段差やむき出しのコードは、目が見えない人にとっては特に危険ですし、点字案内板（B）に手が届き辛いので、これが何なのかかわからないじゃないですか。あと、耳が聞こえない人がどうやってインターホンを使うんですか。苦情が来ないのは使われてないからだと思いますよ。これは誰のためのものなのか、そのためにはどうあるべきかを整理して治してもらってください」

患者 B「そうですか…ありがとうございました」



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

BADUI 図鑑「失敗から学ぶユーザインタフェース（技術評論社）」を出版。

Dr. N「次の人どうぞ～」

患者 C「なんだか引つ掛けて歩道橋にたどり着ける人が少なくて（図5）」

Dr. N「…」



図5 結界？

今回の症例はいかがでしたか？ 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。

Dr. トモクワのUIトリビア

2つめの症例もそうだが、わざと目立ちにくくしてあるとしか思えない点字ブロックも多い（オシャレな建物周りだと特に）。点字ブロックは弱視の人の為でもあるので、コントラストの高い色（標準は黄色（Safety Yellow）、それ以外の色を使う場合でも輝度比 50% 以上を確保）することが重要じゃ。

診療カルテ			
ID	BADUI-36	2020.12.6	
氏名	点字ブロックは誰のため？	視覚にハンディキャップをかかえて人のための点字ブロックが、当事者	
原因・主要症状・経過など		に必要なものには、ついていない	
		- 点字ブロックが放置され、何も無い所に案内される - 誰のためのものかわからない点字ブロックと、トランプ段差 - 歩行を邪魔するポール	
処方・手術・処置など		↓	その人たちのために、ではよく設置しなさいといけないうから設置してというのが問題
		↓	設置の際には当事者の声を聞くべきで、現場に当事者に入ってもらい
現場に当事者がいないことが問題			中村 聡史 (明治大学)

*1 https://twitter.com/aloha_koh/status/1322404451823493120